

～「淡雪こまち」の減農薬・減化学肥料栽培を主体に～

かづの水稻直播通信 令和4年6月17日

令和4年第2号 発行：鹿角地域振興局農林部農業振興普及課

浅水管理で分けつの確保を！

～ 浅水管理で茎数確保！ほ場を確認して中後期駆の選択を～

月 日	6月中旬		6月下旬			7月上旬					
	15	20	25	30	1	5	10				
生 育	5葉期～6葉期						7葉期～8葉期				
	後期除草剤散布							※後期除草剤散布時は、剤型にあわせた水管理			
	湛水（3～4cmの浅水）			※深水管理※			中干し				
作 業 ・ 水 管 理	茎数過剰の場合は深水で分けつ抑制。										
	葉いもち防除										

1 生育状況 ～出芽・苗立は概ね良好。6月上旬の低温により茎数は少ない～

表1 直播ほ場調査結果（6月9日、10日）

	草丈 (cm)	苗立数 (本/m ²)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)
本年値	16.7	100.2	106.2	2.9
平年値	19.8	101.3	135.7	3.6
前年値	19.2	116.5	136.1	3.5
平年比・差	85%	99%	78%	-0.7
前年比・差	87%	86%	78%	-0.6

- 管内の直播播種作業は、始期が平年より1日早い5月12日、盛期も平年より1日早い5月15日、終期は平年並の5月20日となりました。
- 出芽期間の平均気温は高く、播種後10日間の平均気温は好適な出芽に必要である14°C以上で経過していたことから、出芽・苗立は概ね良好となりました。
- また、6月に入ると気温の低い日が続き、日気温較差が小さくなつたことで初期生育は緩慢になり、6月10日現在の生育（淡雪こまち：8地点）は、草丈は平年より短く、茎数は平年よりかなり少なく、葉数は平年より少なくなりました。
- 茎数が少ないほ場では、浅水管理により分けつの発生を促進させることで有効茎を確保しましょう。

2 除草対策 ～ほ場を確認し、早めの散布を～

- 一発剤を散布後、取りこぼしの残草が見られる場合は、中・後期剤の散布について検討してください。現行の除草剤で防除可能なノビエの葉齢は6葉までですので、取りこぼしがないように早めに除草剤を散布します。
- 各除草剤によって、散布時期や散布時の水管理方法が異なりますので、農薬のラベルを確認し、正しく使用します。(表2参照)
- 農薬の総使用成分回数に注意して薬剤を選択してください。

表2 後期除草剤（直播栽培用）

薬剤名	10a当たり使用量		使用時期	使用上の注意
	薬量	希釀水量		
トドメMF 1キロ粒剤	1kg	/	イネ3.5葉期～ノビエ4葉期まで 但し、収穫50日前まで	ノビエ専用剤。2週間程度の残効性を示す。 散布後3～4日間は入水しない。また、散布後7日間は落水、かけ流しは行わない。
トドメMF 乳剤	200mL	25～100L	播種後10日～ノビエ6葉期まで 但し、収穫50日前まで	ノビエ専用剤。2週間程度の残効性を示す。 雑草茎葉にかかるように散布すること。 散布後3～4日間は入水しない。また、散布後7日間は落水、かけ流しは行わない。
トドメバスマF 液剤	1000mL	100L	播種後10日～ノビエ6葉期まで 但し、収穫50日前まで	落水状態で雑草茎葉に均一に散布する。展着剤は使用しない。 散布後3日間は入水しない。また、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しは行わない。
バサグラン液剤	500～700mL	70～100L	播種後35～50日 イネ5.0葉期以降に使用する 但し、収穫50日前まで	落水状態や浅水(0～1cm)にして、雑草によく付着するように散布する。 ノビエに対する効果はない。 局所散布が可能である。 散布後7日間は入排水を行わない。
ノミニー液剤	50～100mL	100L	イネ4葉期以降(入水後)～クサネムの草丈40cmまで、イボクサの茎長30cmまで 但し収穫60日前まで	落水状態またはごく浅水状態にして、雑草によく付着するように散布する。 散布後3日以上は落水(浅水)状態を保つ。 散布直後の降雨により効果が低下する。

3 水管理 ～浅水管理で分けつ促進～

- 浅水管理（3～5cm）の徹底により、分けつの確保に努めます。
- 還元しやすいほ場では、短期間の落水や水の入替により土壤還元を防止します。
- 目標茎数を確保後は、速やかに中干しを実施します。また、落水が確実に行われるよう溝掘りを実施します。

4 葉いもち防除

- 本田の葉いもち防除として、側条オリゼメート顆粒水和剤等を使用しなかった場合やルーチンシードFSの塗沫処理を行わなかった場合は、6月23日頃（6月20～25日）にオリゼメート粒剤を3kg/10aを散布します。
- 入水し湛水状態にしたうえで本剤を水面施用し、そのまま自然落水して、中干しに入ると効率的な水管理ができます。